

やまう



第107号

発行者
干ムなエラ

令和4年
4月号

やまうは
やまうの夢を
実現させたが
二世に
生まれたが
だ



もくじ

COM だより	… ファンクラブ交流会	3
	… ~27年ぶりの再会~	
hana	… 始まりの春は終わりの春	6
タナカミセ	… ちょっと言わせてください!!	8
	… いつもと違う4月	10
すし米 & Syu's Bar	… 和を以て知る 51	12
	… ~始末する心~	
タナカミセ	… 和を以て知る 51 を学ぶ	13
登喜和	… 2022年 登喜和 70周年	15
べっぴんかしー花(いつか)	… あの時あの曲	16
たにやま鍼灸整骨院	… 寝たきりを体験した谷山院長の 開業秘話	17
そのべ整体院	… 辻先生ってどんな人?	18
ながさわまさみ	… 沖縄なう	20
三宝裕のひとりごと	… 今はできなくても学べば良い	22
協賛のみなさま	… ありがとうございます	23

新年度が始まりました。

「なう」4月号は、執筆者10名です。

ちょうど「十人十色」、本当に人ってそれぞれだなあと、毎月思いますが、
今月もすごく思いました。

ひとりひとりの思ったこと体験したこと考えたことが、違う誰かの心に、
ちょっと刺さったり、一滴のいろどりをもたらしたり、ざわざわせたり、
そんな「なう」であつたら、楽しいなと思います。

今月も、手に取っていただき、ありがとうございます。

2022年4月 チームなう

ファンクラブ交流会 ~27年ぶりの再会~

COMだよ!

例年なら東京のみで行われる「堤大二郎ファンの集い」。

今回はコロナの影響もあってか、東京と大阪の2か所で開催して下さった。

堤大二郎さんと再会するのは、1994年映画村でのサイン会以来27年ぶり。

大阪でのファンの集い参加者は9名。

難波で居酒屋をされている、ファンクラブ会員さんのお店で行われた。

(④コロナ感染が落ち着いていた期間に実施されました)

18時からの開催。会員のみんなは、今か今かとご本人の登場を待っていた。

堤大二郎さんご本人が来られたのは18時過ぎていた。

⑤『撮影で遅くなつてさあ～。2時か3時に(撮影)終わるはずだったんだけど
ヒガシ(東山紀之さん)が押しちゃって。ホントに～。
でもヒガシ、カッコいいよね～』

京都の東映太秦映画村で時代劇の撮影中にて、

撮影後大阪まで来られた。

新幹線かと思いきや、JR山陰線で嵯峨から

京都駅へ出て、新快速で大阪へ来られていた。



⑥『撮影が終わったのがギリギリで、羽二重の油も落とせず来ちゃったから…』
とニットの帽子を目深にかぶり、(なんばウォークの無印良品で1,980円の
ニット帽を2,000円で「釣りは要らねーよ」と買ってきていたそうです)2時間の
交流会中、ずっと喋っておられた。

コロナ禍で2時間厳守の飲み会、「あと1時間15分」等残り時間を言いながら
会員一人ひとり順番に来て話してくださいました。

⑦『おおー！米津由実子、やっと会えたねー！』と堤さんから握手してくださった。
(立場逆ちゃう？ しかも呼び捨てか….)と心の中で突っ込みつつ、ファンサー
ビス満点の姿に、みんなすぐに仲良くなった。
俳優業のせいか声がデカいし、おやじギャグ連発。

さすが関西人は芸能人にでもつっこむ、つっこむ!

『大ちゃん、お腹出すぎや!』

『服をズボンの中に入れんといで!』等々

以前ライザップ(RIZAP)でダイエットして、ムキムキの身体になったのに(CMにも出演されましたが)見事にリバウンド。

『大ちゃん、どれくらい(体重)増えた?』

『体重計乗るのをやめたから、わかんない』

(ダイエット前よりかなり増えているよね…)

日常生活の暴露話…色々お聞きすることができた。



『みんなで写真撮ろう!』

『LINEでつながろう』って堤さん、

自分のスマートフォンを出して『入れといで』

って、ホントにいいんですかーっ!?

(スマホの待ち受け画面は、ご自分の痩せた時の写真でした)

~また、参加した会員さんたちとのお話し内容より~

デビュー当時からファンだった会員さんが、元親衛隊(アイドルの熱烈なファンが集まって私的に応援活動等する人たちのことです。昔はコンサートやイベントに現れては集団で踊ったり声援を送っていました)で、夜の公演などで踊りの練習をしていた話を聞かせて下さった。

『大ちゃん変わったよね…』

私が存じている限り、かなりキャラが変わられました。「いつ頃からですかね?」

『たぶん、結婚してからやな~』

『CD出してるけど【片手にホルモン】はないよね(近年リリースされた曲名)(^^;)』

また他の会員さんで、有名な占い師がおられ

2022年はコロナの影響もあり、勝ち組と負け組の差が一段と明確になるとのこと。

(で、勝ち組になるためには…「自分は勝ち組だ!」と強く意識することだそうです)

そして堤大二郎さん出演の「時代劇」放送が決定しました!

NHKBS プレミアム

「大岡越前 6」

主演: 東山紀之

その他出演者: 椎名桔平・寺脇康文・三村里江

田中 健・堤大二郎 等々



【放送日】

★第1回 5月13日(金) すべて 20:00~

第2回 5月20日(金)

★第3回 5月27日(金)

第4回 6月 3日(金)

第5回 6月10日(金)

★第7回 6月24日(金)

★最終回 7月 1日(金)

※再放送は日曜日 18:45~

堤大二郎さんの役柄は、南町奉行 大岡越前の上司である『酒井讃岐守』
です。(★印が出演日です)

東山紀之さんとは初共演だそうですが、撮影現場でもお芝居でのキャッチ
ボールがしっかりとれて、二人の良い関係性をドラマで観てほしいとのことです。
よろしくお願ひします。

(米津)

始まりの春は終わりの春

「ほな」

今日も菅田将暉のオールナイトニッポンのラストは彼のこの言葉で終了しました。

毎週楽しみに聞いている「菅田将暉のオールナイトニッポン」(起きていられないで当然ラジコです)ご存知の方もおられると思いますが、菅田将暉さん、3月いっぱいオールナイトニッポンを卒業されます。涙

この発表があったのは12月のこと。その日の放送は大切な発表があると番組公式ツイッターが告知していました。「なんだろう?」とは思ったけれど、特に気にせずに私はいつも通り、その日のラジオ放送を聞いていました。菅田将暉のフリートークは最高だし、リスナーのリアクションもナイス! 菅田将暉のリアクションへの反応もリスナーとのやり取りも大好きです。そんな中、まさかの発表でした。

「菅田将暉、3月いっぱいオールナイトニッポンを卒業します。急なお知らせですが、これはガチです」

え? 青天の霹靂とはまさにこのことです。あまりにびっくりしすぎて数秒固まってしまいました。私にとって楽しみのひとつ、元気をもらう番組のひとつだったので本当にショックで……。と同時に、「また忘れてしまっているやん」と、自分の愚かさに気づいてしまいました。

そう、諸行無常

知らぬ間に私は月曜日のオールナイトニッポンのパーソナリティが「変わらない」と思い込んでいたのです。それどころかこのまま続していくことを願いに願っていたのです。それこそが「執着」ですよね。知っています。私ちゃんと知っているんです。執着すると苦しくなるということを。こんな苦しみにとらわれないために、ものごとは必ず変化するのだということ、全てが無常の存在であるってことを理解していたはずなのに…… 完全に幸せボケでした。

出会いも別れも私にとってはしんどいことなので、私は春があまり好きではありません。結局なにも手放すことができないのです。

お釈迦様が掲げられた3つの真理

「諸行無常」（すべてはうつり変わるもの）

「諸法無我」（すべては繋がりの中で変化している）

「涅槃寂静」（仏教の目指す苦のない“さとり”の境地）

これらを今一度しっかりたたきこみ、少しでも苦しみから逃れたいのに、放送があと何回もないと思づいては、ザワザワ。出会いと別れの春、生活環境が変わるもの。なんのかわからぬけど、晴れた空を見て切なくなるアレですよ。私、まだまだ煩惱にまみれています。



<ここからは余談>

菅田将暉がリスナーからの“無茶振りミッション”に応えるのが恒例となっている日本アカデミー賞授賞式ですが、授賞式直前の放送で今回は何もやらないと言っていた菅田さん。

あるときは「てやんでえ」ポーズをし、またあるときは「トビー・マグワイア」とロパクをする、さらに映画「ロード・オブ・ザ・リング」に出てくるような金の指輪をはめるなど、毎年ラジオ内で決めた約束を必ず果たしてこられました。

オールナイトニッポンを卒業されるので今回がラストということもあり、本人はやらないと言っていましたが、そんなはずはない！ と私はリアルタイムでテレビを見ていました。

ラジオではカフを上げ下げるポーズや、インタビューで「リアクションいただいている」からの「ほな」で締めるなど、リスナーからさまざまなお題がありましたが。本人はおもしろがっていましたが「えぐダサい」と言い「今年はやらない。毎年やるつもりはないんですけどね」などと言っておられました。でも私はワクワクしながらその時を待っていました。

そして、最優秀主演男優賞発表のその瞬間、「えぐダサいやつ」をやってくれたのです。たしかに「ほ」「な」とロパクしていました。「うえ~い！ さすが～！」と大喜びしましたが、同時にこれが最後なんだと思うと悲しくもあり、この「ほな」にはいろんな意味が込められているのだろうなあなんて思っちゃいました。

そして、うれしいと切ないが交互にくる忙しい気持ちをかみしめていたのでした。

セイ hana

ちょっと言わせてください!!



どうしても伝えたい「ありがとうございます」があって。

2月の終わり、京都市内でひとり暮らしをしている長女、もしかして？ ということになり、クリニックでPCR検査を受けたら、陽性。発熱はなく、自宅療養になりました。

そして3日後に、保健所から、電話をいただきました。

「支援物資は、どうされますか？」

冷蔵庫にもたくさん食品があるので、「大丈夫です」といったん断つたらしいのですが、「そう言われる方、結構多いんですが、支援物資が届くのは5日ほど後で、そのころには今いっぱいの冷蔵庫も、減っているんじゃないかなと思います。もしよかつたら、受け取っていただいたらどうでしょうか？」

と言っていただいて、長女は支援物資を受け取ることにしました。

5日後、「行政からです」と電話があり、「今マンションの下に来ていて、これからお部屋の前まで運びます。また、置いてから電話を入れるので、ドアを開けて受け取ってください」とのこと。

住んでいるマンションは、エレベーターのない4階建て。長女は4階に暮らしていました。

しばらくして、同じ方とは思えない、「はあ、はあ、」息の上がった声と共に「いま、おとどけ、しました、」と電話があったそうです。

長女が送って来た写真を見てみると、

支援物資の入った段ボールには、ペットボトルの飲料水数本、お茶数本、缶詰、レトルト食品、長期保存パン、トイレットペーパー、マスク、お菓子

子などなど、ミカン箱二つくらいのサイズの段ボールにみっしりと、愛と支援と愛、が詰めてありました。

こんなありがたいことって、あります？

ペットボトルの数だけで考えても、5kgはあるはず。

そりや、息もあがります！

行政のはからい、そして、届けてくださった担当の方（宅配業者の方？）、お仕事とはいえ、5kgの段ボールを、マンションの4階まで階段で運ぶという任務、本当に本当に、ありがとうございました。

長女が陽性になったおかげで、このことを知りました。

ニュースなどで聞いたこともなく、あまり広く知られていないのではないかな、という気がします。

また、非接触での受け渡しで、届けていただいたときに、顔を見てお礼も言えず、なんだかもやもするなあ、と思い、「なう」の場をお借りして、お伝えさせていただきました。

1人暮らしの人にとっては、こういう支援が本当にありがたいと思います。
ありがとうございました。

一体、これはどういうシステムでいただけているのかと、ネットで検索しましたら、

「自宅療養の方への食料、生活用品の支給」という、京都府の事業でした。
よきはからい、ありがとうございました。（眞理）

いつも違う4月



昨年、北大路ビブレの1階に、新しいスーパーマーケットが入りました。

行きたい行きたいと思いながら、初めて行ったのは2月の終わり。

上沼恵美子さんの昔の「傑作ホラ」が好きで、「実家は大阪城」「琵琶湖は資産」、そして上沼さん本人が言われたかどうかは不明ですが、「出身地の淡路島は、上沼さんの土地」というホラも好きです。

それに影響されてか、「使ってみたいけど、日常使いにはちょっと高価で、最後まで使い切れないかもしれないスパイス類」などを見つけると、「うちのスパイス、。。スーパーで預かってもらってる」という感じで眺めています。

ビブレの新しいスーパーも、どちらかというと、「あ、うちの新しい冷蔵庫ができた」くらいの、ちょっとよそ行きな感じのお店。

いろいろ、珍しい食材や、無農薬の野菜などを見学していました。

店内では、みんなが触って、乱していった商品をきちんと元に戻したり、商品を補充したり、てきぱきと働いているひとりの若者がいました。きちんとひとつに束ねられた髪が印象的でした。

「よく動くひとやなあ」と思いながら少し見ていました。先輩風のスタッフさんに、いろいろ指示を受けて、別の棚へ行ったり、とにかく止まることなく動いておられました。

近づいてみると、胸のところに「研修生」とかわいらしい手書き文字で書かれたネームバッヂをつけておられます。

「研修生」の文字を見た瞬間、反射的に涙がじわっと。なんでー?、慌ててマスクを引き上げて涙をふくのですが、ふいてもふいても、止まりません。

涙腺が緩みがちなのは、加齢のせいもあるのでしょうか、たぶん、今年4月から社会人になる長女の姿が重なったからだと思います。

柚子胡椒を買って、お店を出ました。

長女の就職のことを思い返しました。

3年生のときに、大学のフィールドワークでニュージーランドへ行く予定でした。その準備をしているときにコロナ時代に入り、海外渡航は中止になりました。

4年生になってすぐに、ふたりで訪れた淡路島。景色が美しくて、いただくものが全部おいしくて、いろんな出会いがあって、穏やかで、とっても居心地の良い時間を過ごしました。「ここに住みたい」と、淡路島で始めた就職活動。ニュージーランドのカタチに似ていなくもない小さな島を選んだ彼女を、おもしろいなと思ってしていました。

2月の終わり、就職が決まり、上沼恵美子さんゆかりの淡路島が彼女の次のステージになることも、すごくおもしろいなと思っています。

ということで、今年の4月は、いつもとは違う目線で「研修生」を見ることになりました。

レジ担当が「研修生」「お急ぎの方は、別のレジへお並びください」と書かれても、そこに並ぼうと思っています。がんばろうぜ！（眞理）

和を以て知る 510 ~ 始めする心~

先日、ゴミについて学ぶ機会がありました。

一言でゴミと言っても、中身はひと昔前と比べると随分変わっています。
生活様式の変化を感じずにはいられません。

本でも生ごみを考える上で、食品ロス問題は切り離せません。

{ 世界では9人に1人が飢えに苦しみ、毎年3億トン程度が捨てられています。
これは五倍近くに食品の3分の1になります!! }

{ 日本でも1人1人がお茶碗一杯分の食べ物を捨てると同じ廃棄量! }

食べるものに困っている人がたくさん
なのに一方で、食べられる物を捨てる → クロヒテ悲しい現実

早く安価に物が手に入り便利さを求めてと引き替わりに、物に対する心、
始める心を忘れて派遣。

本来、物と大切に育む文化の中で育った派遣は、

その心を持ち合わせています。そんな事を考へると、中学の頃の先生の言葉「恩を返す」。

“一円を笑うものは一円に泣く”

「だから一円やと思つてあんまりなの? 一円でも

誰かから、みんなは電車に乗れへんよ～!!」 懐かしい…

残飯を捨てる

賞味期限を敏感に見て

貰ったまま放置

そんな人は相手は2と見えて、いやされじへ返しかかる

食品物と無駄に争ふと、食品物が困る!! 分かります!!

私が“痕”つけて習慣化(云々) (当たり前のことで恥ずかしいですが…)

○ 買う前に必ず荷下ろし

○ 料理用物は早く保存(冷冻)

○ 一週間も一回程度は

○ セーラー感を拭かない

○ 2次回は上半に使ひ

冷冻庫内の全部空けて

○ 使い切らなければ買わ

○ 食材を格別料理に使う

使い切らなければ買わ

○ 食べられる分だけ作る

○ 食べられないものは

調味料は残りながら

使うことにすこし

たたいて作る!!

食べるものに困る人がたくさんいると願い

無駄の無い食生活を中心計けたいと思います

料理教室 ゆい

Syu's Bar
BUSHIYONE

和を以て知る 51 を学ぶ



いつも、1ヶ月遅れで、「和を以て知る」の感想を書かせていただいているのですが、今月は、いいタイミングで「リアル月の感想」を書くことができました！

「食品ロス」

全員が当事者の問題。

「自分がやったことは、自分に返ってくる」

食べるものに関してはもちろん、どんなことに対しても、そうですよね(笑)。と思いながら、読ませていただきました。

何年か前に、修子さんのお料理教室で教わったのが「野菜のだし(ベジブロス)」。

大根の皮、キャベツの芯、など、野菜の、そのままでは食べにくい部分、捨てがちな部分をお鍋に入れ、水を入れて、弱火でことこと1時間弱煮る。そのおだしは、色んな野菜の味と甘みが混ざり合って、美味しいくて、飲むだけで健康になった気がします。

少し塩を加えると、そのままおいしいスープになりますし、

お料理教室では、野菜のだしで、肉などの調理をすると、とってもおいしいと習いました。

我が家では、特に冬、大根やかぶらの皮、キャベツの芯や外葉、などで、よく作らせてもらっています。

そして、今月は、もうひと手間かけて、「だしをとった後の野菜も、まるごと食べつくすおいしいカレー」を、紹介します！

野菜のだしを作るときに、ニンニク1かけ、薄切りにしたショウガも一緒に煮ます。気分で塩こうじも少し入れたりします。

(なかつたり、面倒だったら、省いても大丈夫です。野菜だけでもじゅうぶんおいしいです！)

柔らかく煮えた野菜を、だしから取り出し、フードプロセッサー、ミキサー、などで、ピューレ状にします。まわりにくいときは、おだしも少し加えて、まわします。

だしのお鍋にピューレを戻し入れて、弱火であたためます。

あとは、

カレールウ
塩

で仕上げます。お好みで、

カレー粉
ウスターーソース
ケチャップ
しょうゆ
クミンやガラムマサラなどのスパイス(なくてもOK)

などなど、おうちカレーと同様、色々足してください……。

何せ野菜だけのカレーなので、
カツカレーにしたり、目玉焼きをのせたり、蒸し鶏のスライスをのせたり、
焼いたお肉をのせたり、アレンジも楽しいのです。

野菜の甘みと香りがたっぷり、そして自然に程よくとろみがついて、食物纖維もたっぷりのカレー、ほんとにおいしいです！
ありんこの涙ほどですが、食品ロスにも繋がっているな、と思います。ぜひ、お試しくださいね！(眞理)

2022年 登喜和70周年

登喜和は今年の4月で創業から70年を迎えます。京北周山の地でお店を始めてから、京北に住む皆さまを始めとするたくさんの方々に必要とされ、支えられて70年を迎えることができました。お客様の方々、京北地域の方々など数えきれない程の皆さまにこの場を借りてお礼申し上げます。

僕が子供の頃には「うちの店はどこにでもあるなんでもない肉屋だ」と思っていました。しかし数年前から登喜和で働き始めてから、お店を訪れて頂いたお客様や京北地域の方々から、「登喜和のお肉を食べたら他所のお肉は食べられん」「子供の頃、登喜和のお肉はごちそうで特別なものでした」、「京北の町に登喜和は必要や」等の嬉しいお言葉をたくさん頂いてきました。そうした中で僕は改めて登喜和のすごさ、大切さを実感することができました。

また登喜和が京北にあることで京北外のお客さまが「初めて京北に来ました」という場面にも多く出会いました。そんな方々には京北のオススメスポットを紹介したり京北の情報を発信したりしていました。そんな風なことをやっていると登喜和をこの京北で続けていくことは、自分たちの生活だけでなく地域貢献にもなっていたのだなと思いました。

僕自身も登喜和を通して同じように京北で商売をしておられる方々や、思いもしなかった人たちと出会うことができました。その方々と一緒にお話ししたり活動したりして充実した時間を過ごすことができています。

このような素晴らしい出会いや充実した経験をこの先も続けていきたい。そのためにもこの先も一日一日を積み重ねて、登喜和を続けていきます。どうぞ今後も登喜和を宜しくお願ひ致します。

70周年を記念して4月からちょっとした企画をしたりしていますので、**登喜和の各SNS等をチェックしてもらえれば嬉しいです**

※下のQRコードは登喜和の公式LINEです

前田 悠太郎



あの時あの曲

ふと流れてきた曲で、聞いていた時の空気とか、気持ちがよみがえってくる。そんな瞬間が好きです。

3月号で花hanaちゃんが書いていた、ロックバンドBOWWY。
私も大好きだったよ！！！今も（笑）
よく聞いていたのは高校生の時。

うわあ。高校生って。息子たちやん。
この前のことのように懐かしんでいた
けど（笑）

そんな息子の卒業式。
流れてきた君が代に、それはもう本当に。
自分でもびっくりするくらい心が動き
ました。
何度も聞いてきたけど、生まれて初めて。

もともとは、
作者不明の古今和歌集の歌だったそう
で、恋の歌という解釈もあるとか。

君の代が
千年も八千年も
小さな石が大きな岩になって
苔が生えるまで
長く長く続きますように

どうして、こんなに感動したのでしょうか。

同じ空の下で、総動員令を受けている
18歳の若者がいる。その母親の気持ち。

目の前の18歳の背中を見ながら、
そんなことを考えていたからかもしれません。

コロナで他府県から、実家へ帰省できない学生たちがいたことを思いだし、陸つながりの国が闘うこと想像していたからかもしれません。

どうかどうか。君たちが、
ずっとずっと笑顔でいられますように。
そう思っていたからかもしれません。

あっ、退場です。
みんなの顔が見えてきました。
それにしても、みんな本当に大きくなつたね。

うわあ。泣けてきた。

感極まったその瞬間、パチッと目があう。

（また泣いてる笑？！）
と言わんばかりの息子のその表情に、
涙はひいていきました。

後から聞けば、真後ろに座っていてびっくりしたとか。
えー！泣きたかったなあ、もう。

きっと、君が代を聞く度に思い出すんでしょうね。この日の色んな想い。

べっぴんかし一花 まぶちみか

QRコード変更しました！



「寝たきりを経験した谷山院長の開業秘話」

はじめて

たにやま鍼灸整骨院 の 谷山賢治 と申します。
地元の京丹波町で開業して 10 年目になります。

学生時代は勉強よりも野球のことしか頭にない、
いわゆる野球バカでした。

そんな野球を通じて関わって下さった方々の影響
で今の道を目指し始めました。

3つの国家試験にも合格して夢だった地元の京丹波町で開業
と聞くと順風満帆のように思われますが 19 歳の夏に脳内出血で意識不明となって
生死をさまよいました。

長期の入院を余儀なくされた中でこれまでできていたことができなくなるという
ことがどれほど辛く悲しいことかを実体験しました。

そんな経験からお体の痛みや不調でこれまでできていたことができなくなった患者
さんにお出会いするとその辛さが私には痛いくらいよくわかります。

そしてそんな方々に希望が与えられる治療院にしたいと日々診療に励んでおります。

当院に来られる患者さんは病院へ行ってもなかなか治らなかった方など
重症の方が多く来院されます。

シップと痛み止めで様子をみましょう。

歳のせいだから仕方ない。

手術しか治る方法はない。

など

様々な不安や不満をもって来院されます。

まずは脳の誤解を取り去ることも大切な要素となります。

骨の変形や軟骨のすり減りが痛みの原因ではないということ。

肩こり・腰痛・膝痛は年寄り病ではないということ

人間の治る力は凄いものであるということ

レントゲンに写らない「筋肉のこり」が原因で痛みやシビレが表れることも少なくあ
りません。あきらめずにその硬く凝固まった筋肉をゆるゆるにしてみましょう。きっと
希望の光が差すはずです。



「辻先生ってどんな人？」



そのべ整体院
院長の辻です。

今回は「そーいえば自己紹介や、なぜこの仕事を始めたのか。って言うのを開示できてなかった(>_<)」と今更ながら思いましたので、私の事を少し知ってもらおうと思いました。

まずは軽く自己紹介からいってみよーと思います。

出身は亀岡で、年齢は33歳です。

5人家族で、娘が3人います。

だいたい皆様、ここで「その年で3人もいるん? (°Д°)」
と突っ込まれます笑

趣味はバイクに乗ったり海ハイカを釣りにいったり、あとは子供たちと遊んで
ます。

自己紹介はこのくらいにして、

なぜ整体師になろうと思ったのか？きっかけをお話しします。



私の高校時代までさかのぼります。

当時私はラグビー部に所属しており、練習中に腰を痛めてしまいうごけなくな
ってしました。

園部にある病院へ先生の車で送ってもらい、レントゲンを撮るとヘルニアだと
診断を受けました。

帰宅し、腰の激痛と左足全体がシビレっていて自分で着替えや、トイレもろくに行
けない状態に絶望しました。

何日か過ぎても状態は全然変わらず、動きにくい日々が続き、
「もうこのまま治らないなのかな？」と不安がチラチラとよぎり、つらい経験を
しました。

そんなことを感じながら1ヶ月が過ぎ、もう部活もやめようかと思っていた時
に、母親が

「いい先生がいるらしいから、行ってみよう。」と私を連れて行ってくれました。

「痛い事されるのかな？もうそっとしといて欲しい」

と内心思ってましたが、ちょっとでも良くなるならと覚悟を決めて治療にいき、

3回目の治療後のできごとです。

忘れもしません。

今までびっこ引いて腰に手を当てて歩いていたのが、スタスタ歩けるようになり、びっくりしたのと同時に、感動しました。

そこから1ヶ月しっかり通い治療を続けると、走れるようになり、また部活に復帰できるようになりました。

その時助けてもらった先生が、とてもかっこよく見えて

「俺もこの先生みたいになりたい。」

と思い、まずは先生が持っていた資格をしらべて、その資格を取る為に専門学校に入学しました。

基礎医学を3年間かけて学び合格し、この業界に飛び込んだ訳です(*^~*)

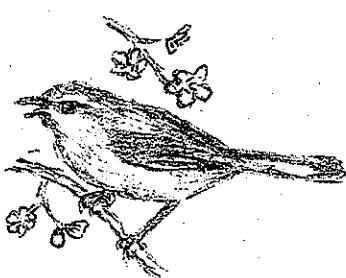
2社の整骨院で務めながら学びを深めていきました。

今もまだその先生に追いつく為に日々勉強中です。

この記事で更に親近感を持って、今後の記事を読み進めていただけたら幸いです。

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

また来月もお楽しみに～(*^~*)



そのべ整体院 院長 辻 陽平

TEL:0771-60-7597

住所:南丹市園部町木崎町正尺 13-2 アーク参番館 104

LINEから
お問合せ



ハイタイ、チューウガナビラ！（どうもこんにちは！）ウチナー（沖縄）“なう”

魔除け 「シーサー・石敢當」

についてお届けします。

★沖縄の魔除け

沖縄では、不幸が続いたり理由もなく重い病気になったときに靈やマジムン（＝実体のない煙のような掴みどころのない存在で、不気味なモノや現象）のせいと考えられている。

ヤナカジ・シタナカジ（悪靈や汚い靈、疫病）などから家と家族を守るために、昔から数々の「惡靈祓い」の儀礼や行事・魔除けがある。

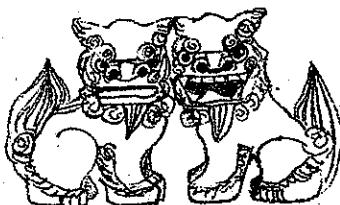
★シーサー ○ 4月3日(日) シーサーの日

沖縄のお土産としてもよく知られているシーサー。架空の動物であるが、原型はライオン。発祥はインドなどで、中国を経由して伝来する。14世紀頃には、魔除け、惡靈返し、火返しとして定着。首里の圓覺寺の橋に彫刻されたものが、最古の記録であり、城の門前、寺社などに置かれていた。

1689年、当時の富盛（現在の八重瀬町）

集落では、近くの八重瀬岳から

全長 175.8cm
高さ 141.2cm



頻繁にヒーマジムン（火の妖怪）が飛んで来て、集落を火事にするので、村の易者の助言通りに村の出入り口に一体の石獅子を山に向けて設置する。その後、火事が無くなつたと言われている。

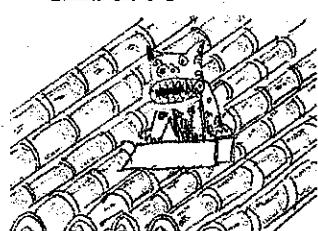
火の玉が飛び散って火災などの災難を引き起こすと信じられていた為、ヒーザン（火山）の近くにある集落には、必ずサンゲーシ（山返し）あるいはヒーゲーシ（火返し）と呼ばれるシーサーが置かれて、集落をヒーマジムンから守っていた。

「魔除け」でもあり「守り神」でもあった。

【屋根獅子】 19世紀末（明治時代）民家にも赤瓦（以前は藁葺き）の使用が

許されると、屋根に口を開けた「阿」型の獅子を据えて、災難除けや魔除けとする風習が、一般に広まっていった。

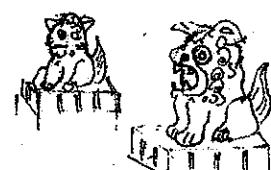
～屋根職人が瓦を葺き、瓦の接着で余った漆喰で「除災招福」を願って「おまけ」として創ったのが始まり～ 【門柱獅子】



邪惡なものを睨みつけ吼えた姿 コンクリート建築が増え、屋根に

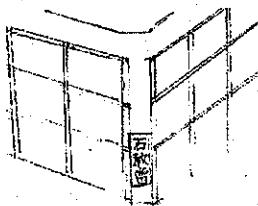
いられなくなり対となって門柱にお引越しをし、邪惡なものの侵入を拒み、退けようとしている。

口を開けている雄は魔物を捕まえ惡靈を退散、口を閉じている雌は幸福を逃がさない



★石敢當(イシガントウ)

昔から、マジムンは道を曲がることが出来ないとされ、道の突き当りにある家は、そのまま悪いものが突っ切っていってしまうと言っていた。



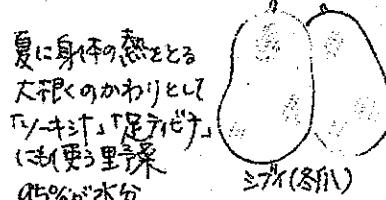
そのため、突き当り(T字路・三叉路・十字路の角など)
にある家などには、石敢當と呼ばれる魔除けを置く習慣があった。
(14,5世紀頃からだが、はっきりとした年代分からず)
石にある種の呪力を認めて拝んだりする、靈石信仰の
下で、堅固な石には、悪い気が当たってもそれ



ねじ伏せて従わせたり、跳ね返す呪力が備わっていると信じられていた。

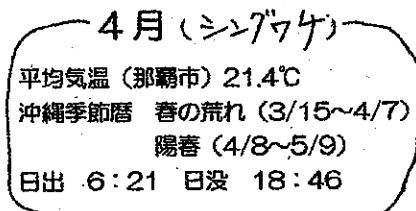
そこへ中国の石に「石敢當」という三文字を刻み駆邪するという民間で広く行われていた習俗が伝わり靈石信仰と結び付き調和した。(中国から伝わる有名な英雄の名前だという説もあり)

※この他、シャコガイ、スイジガイ、マース(塩)、サン(ワラの房などを十字の形に結んだもの)
など沢山の魔除けがある。



★沖縄独自の記念日

- ◎ 4月10日(日) シブイ(冬瓜)の日
- ◎ 4月15日(金) イリオモテヤマネコの日
- ◎ 4月17日(日) モズクの日(4月第3日曜日)
- ◎ 4月24日(日) サトウキビの日(4月第4日曜日)



★5月の年中行事

- ◎ 衣替え 5月1日(日)
- ◎ アブシバレー(畦払い) 5月14日(火)~15日(水) 旧暦 4月14日~15日
籠などの植物で作った船の上にバッタなどの害虫を乗せて海に流す。海の果ての国に虫を送り、さらに虫の発生を神様の力で抑え込んでもらうよう祈願する行事。

★NHK 連続テレビ小説 第106作 4月11日(月)スタート

「カムカムエブリバディ」の京都から「ちむどんどん」の沖縄へ！

チムドンドン=胸が高鳴る・胸がドキドキする・心臓がバクバクする様子のこと。

1960年代、沖縄本島北部「やんばる地域」から始まります。



ニーフェーデービル(ありがとうございます) マタヤーサイ(またね)
ながさまさみヤイビータン(ながさまさみでした)

三宝裕のひとりごと

今はできなくても学べば良い

私は、ある企業で高卒の新入社員研修を実施していた時、新入社員の1人から「先生は、私たちができなくても、声を出して笑っても、怒らないで、親切に指導してくれ、有難いと思った。」と言われました。その言葉に何人かが頷き、私は驚きました。

新入社員には、チーム実習をやっていました。個人が持っている情報を出し合い、チームで協力して、時間内に課題を達成します。課題を達成する中で、コミュニケーションや チームワーク等を学ぶことが目的です。つまり、できても できなくてもコミュニケーションや チームワーク等を学ぶことができれば良いのです。

新入社員の多くが「できないことは、ダメなことだ」と思っていました。おそらく学校で「できないことやわからないことは、ダメなことだ！」と言われ続けてきたのでしょう。

私はそんな新入社員に対して次の様に言いました。

「君たちは、これからこの会社で働きます。

働く中で、何度も失敗をし、何度もできないことにぶつかります。

失敗しても、できなくても君たちがダメなわけではありません。

誰もがみんな失敗し、できなかったのです。

君たちの上司や先輩も、最初はみんな失敗し、できませんでした。

大切なことは、失敗しないことではありません。

大切なことは、失敗から学び、どうすれば良いかをつかみとり、できるだけ同じ失敗を繰り返さないことです。

『自分で自分をダメだ』と思っていれば、頑張ればできるようになることもできなくなります。

どうか、自分に自信をもって、失敗から学び続けてください。」

さらに新入社員は、声を出して笑いながら学んだ体験がないのかも知れません。自分の好きなことを学ぶことは、本来楽しいことです。人は、できないことができるようになることは楽しいことです。私は新入社員に、学ぶ楽しさを体感していただきたいと思いました。

A black and white photograph of a cow's head, showing its eye, ear, and part of its neck. To the left of the cow is a vertical column of Japanese text.

The logo consists of a black square containing a white graphic. The graphic depicts a stylized tree trunk on the left and three white, upward-pointing triangles of varying heights on the right, suggesting a forest or mountain range.

お
料
理
可
能
す
一
米

ご宿泊・お食事・ご宴会
要事時のお食事等
ご予算に応じて賜ります

◆ご予約・お問合せ
京北・周山町 075-852-0032
<http://www.sushiyone.net>

The advertisement features a large, stylized key icon on the left side. The text "自然と暮らす、" is positioned above the key, and "自然に暮らす" is positioned below it. Below the key icon, the word "SOUK (スーク)" is written in large, bold, sans-serif capital letters. Underneath "SOUK" is a smaller graphic of a house with a chimney. To the right of the house is the phone number "0120-19-4848". At the bottom, there are two horizontal bars: one black bar containing the text "スーク 不動産 検索" and another white bar containing the same text.

Dog village
green tail

山遊び／ホテル／しつけ相談

〒601-0275
右京区京北宇野町広野5番地 TEL. 075-852-1535
090-6732-4167 greentail@docomo.ne.jp

大島剛司
デックアドバイザー

杉鮓 日本唯一、杉で包む漁専門店
京都 西の鯛街道 篠寿司専門店 京北すえひら
〒601-0531 京都市右京区京北上弓削町段上ノ下16
TEL 075-854-0113 FAX 075-854-0151

<http://k-senta.com/>



工房

仙太

江口 喜代志

〒601-0313 京都市右京区京北井戸町甘ヶ谷131
TEL 075-853-0208/FAX 075-853-0240
H.P 090-5168-1418
e-mail:senta@silksplate.or.jp

Sento



Gate

CREATIVE SPACE



SATOYAMA
DESIGN

そのべ整体院



お問い合わせご連絡は、お電話かLINEにて
お願い致します。

TEL 0771-60-7597



着脱オフ・イソフラボン・グルテンフリー／

べっぴんミックス



べっぴんかし 一花

肩 腰 膝

そのツラ本筋み

あせり下へい！

京丹波町

たにやま鍼灸整体院

☆予約制

070-5100-0701
075-500-0489
京都市右京区京北局山町



編集後記

リキのあさんぽで春への訪れを感じる今日このごろです。
2022年の春を日々の生活をエンジョイしてフレッシュな気持ちで
スタートグッズを切れますようにと願っています。 (花)hana

毎月朔日発行

発行者

米津由実子・花倉祥代・田中真理

連絡先

タナカミセ

090-5014-3002

表紙詩画

ヒューマン・リレーション・センター 三宝 裕氏